

# SOLAN Dream Climbers

～夢に向かって一歩ずつ～

## ヨハネス・デ・レーケって何した人？



現在の社会では、「オランダ人技師ヨハネス・デ・レーケと木曾三川治水」をテーマに学習しています。ただ学習しても面白みに欠けるので、子どもたちは調べ学習を通して得た知識を、新聞やニュース番組など自分らで表現方法を決めて工夫を凝らしながらまとめるプロジェクトに取り組んでいます。

今日の授業（4-2）では、まず江戸時代の木曾三川流域での治水工事の実態について学びました。資料を使いながら、当時の人々がどのような困難を乗り越えて工事を進めたのかを調べ、友達と協力しながらポイントをまとめている姿が印象的でした。「洪水を防ぐためにどんな工夫があったのか」「なぜ治水が重要だったのか」といった問いに対して、グループごとに意見を出し合う姿も見られました。

こうした課題解決のプロセスの中で、子どもたちはデ・レーケがどのように治水工事を行い、地域を守ったのかを自分たちで調べ、それを「どう伝えるか」を考えています。その中で得た知識は、ずっと深く心に残るものと期待しています。今後も子どもたちが主体的に学び、楽しみながら成長できるよう努めてまいります。

